

9月30日 スマトラ南部(インドネシア)の地震

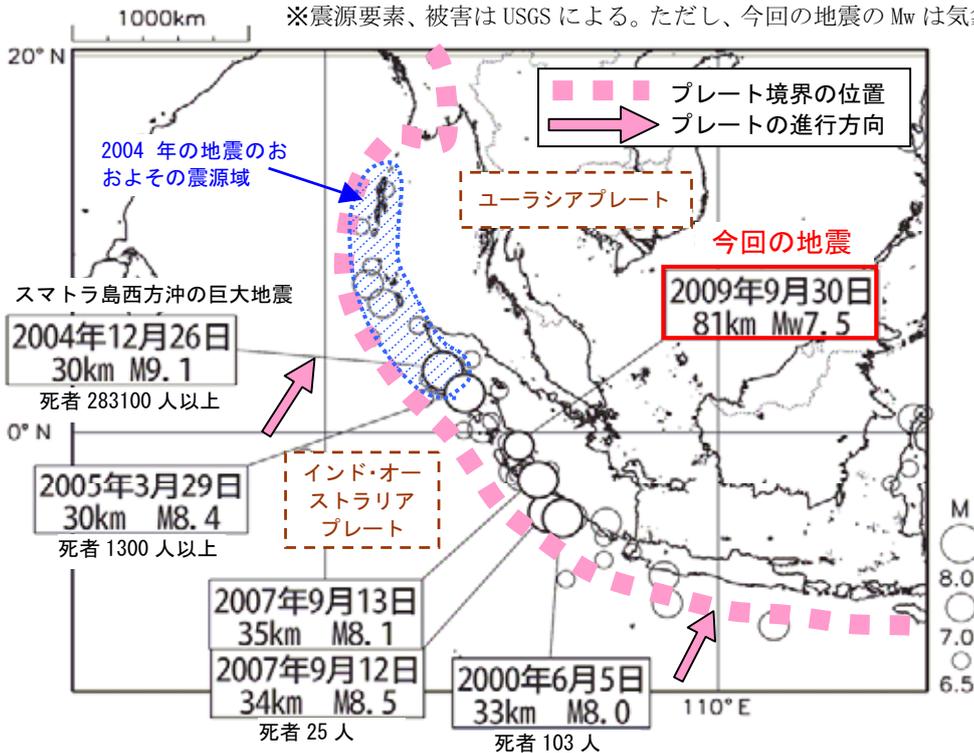
インド-オーストラリアプレート内部の地震、逆断層型、Mw7.5

2009年9月30日19時16分(日本時間)、インドネシアのスマトラ南部でMw7.5(震源は米国地質調査所[以下、USGS]、Mwは気象庁による)の地震が発生した。この地震は、スマトラ島の下に沈み込むインド・オーストラリアプレートの内部で発生した地震で、発震機構(気象庁CMT解)は北西-南東方向に圧力軸を持つ型であった。今回の地震により死者1,100人以上、負傷者2,181人以上の大きな被害が生じた(10月7日現在、USGSによる)。なお、この地震により津波が発生し、震源に近いインドネシアのパダンで津波を観測した。

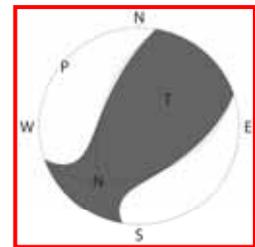
今回の地震は、2005年の地震(M8.4)の余震域と、2007年の地震(M8.5, M8.1)の余震域の間の領域で発生した。余震活動は活発でなく、M4.0以上の余震は9月30日19時38分に発生したM5.5の地震の1回のみである。

震央分布図(1980年1月以降、深さ0~100km、M≥6.5)

※震源要素、被害はUSGSによる。ただし、今回の地震のMwは気象庁による。

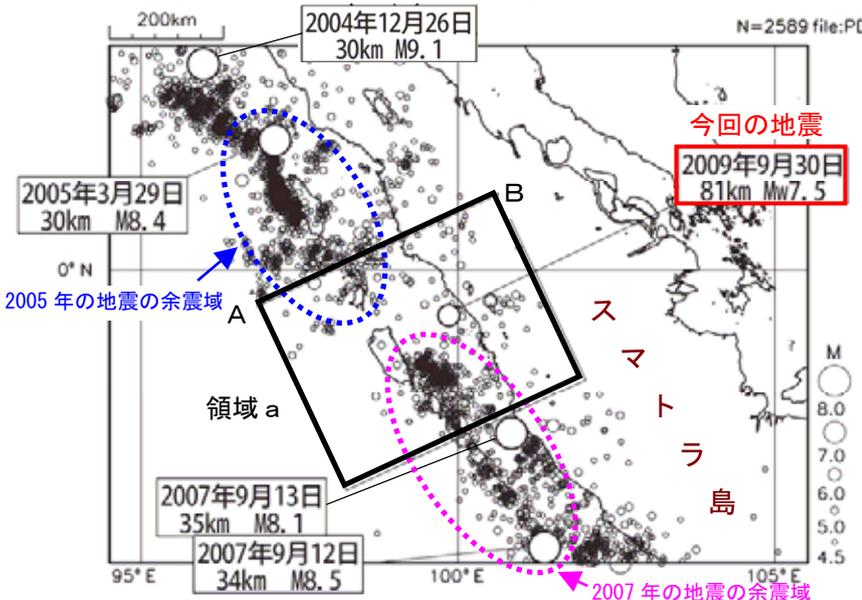


今回の地震の発震機構(気象庁CMT解)



※本資料中の今回の地震のMwはすべて気象庁によるモーメントマグニチュードである。

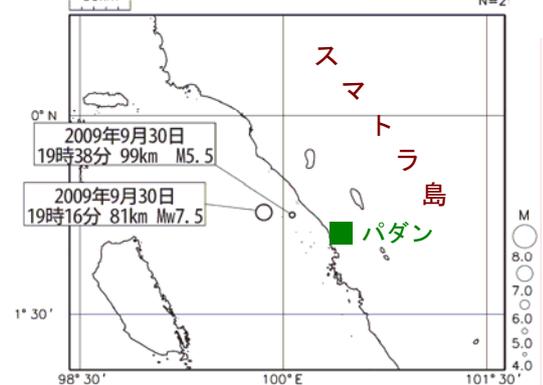
震央分布図(2000年1月以降、深さ0~100km、M≥4.5)



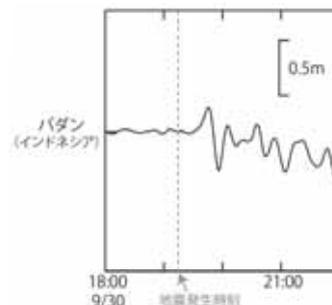
領域aの断面図(A-B投影)



震央分布図(2009年9月30日以降、深さ0~150km、M≥4.0)



パダン(インドネシア)で観測された津波



気象庁資料